

# 都中P通信

No.39

発行 平成27年3月 東京都公立中学校PTA協議会 会長 田谷 克裕

## ★第15回全国中学生創造ものづくり教育フェア★

都中P会長：田谷 克裕

### \*\*\*あなたのためのおべんとうコンクール\*\*\*

毎年楽しみにしているコンクールです。全国から選抜された20校の中学生たちが、90分間でテーマを“魚”として、それぞれの思いのある人(保護者・祖父母・先生など)のためにお弁当を作ります。事前に調理の練習はもとより、レシピを提出、調理後のプレゼンテーションの準備もあります。既に、レシピ等の審査は、専門家による採点がされています。

#### ・・・いよいよ調理開始・・・

さて、開会式が終わりいよいよ調理開始です。審査員は、会場をご提供いただいた女子栄養大学を始めとした家庭科関係の教授・中学校教諭、教育委員会関係者と、保護者の代表として私が参加しました。

90分の中で、下ごしらえ、ご飯炊き、素材の調理、弁当箱への盛り付けと進みます。みんな真剣な顔です。1チームあたり2~3人です。やはり女子のチームが多いですが、男女混合や、男子のチームもありました。だんだん良いにおいがしてきます。時間も迫ってきます。ちょっと焦がしたチームもありました。でもみんながんばって調理しています。



いよいよ調理開始 真剣に取り組む参加者

#### ・・・緊張のプレゼンテーション・・・

あっという間の90分です。調理後は、1分間のプレゼンタイムです。絵に表したり、写真にしたり、地元の食材をアピールしたり、かなり工夫を凝らしていました。そしてお待ち兼ねの試食です。練習の甲斐があって、どのお弁当も彩りがきれいです。そしてなかなかの美味です。みんなの思いが伝わるような一品、甲乙つけがたいところです。審査員は皆さん苦勞して採点されていました。

#### ・・・運命の結果発表・・・

いよいよ審査結果の発表です。結果は以下の通りとなりました。

#### 文部科学大臣賞

★神奈川県横須賀市立長沢中学校

#### 女子栄養大学賞

★愛知県犬山市立城東中学校

#### 厚生労働大臣賞

★徳島県鳴門教育大学付属中学校

#### 都中P賞

★宮崎県宮崎市立加納中学校

#### 東京都からの入賞

★板橋区立板橋第一中学校

★新宿区立四谷中学校



都中P賞受賞の宮崎県宮崎市立加納中学校のおべんとう

**皆さん、よくがんばりました。おめでとうございます。ご馳走様でした。**

#### おべんとうコンクールとは・・・

全日本中学校技術・家庭科研究会が主催するコンクールで、中学生が規定課題に沿ってお弁当を作り、その出来栄を競うもの。技術・家庭科で学習した内容を活かしながら、食べてもらうのことを考えたお弁当作りを通して、身近な人とのかかわりの大切さや、食の重要性を知ることなどを目的としています。

## ★中親会紹介★

# 中親会との合同研修会 & 賀詞交歓会

都中P副会長：中村 和也

## 合同研修会

平成26年度の合同研修会は、2月2日(火)に品川区立中小企業センターで品川区長である濱野 健氏にお願いして講演会「品川のまち・品川の教育」を行ないました。その後、濱野区長を交えて懇親会も行ないました。講演会では、前半で品川区という地域の歴史・特色を、後半で品川区の教育の特徴が紹介されました。品川区の教育の特徴の中からいくつかをご紹介します。



合同研修会の様子

### ●小中一貫教育

授業についていける子の割合が小学校では7割、中学校で5割、高校で3割と言われているため「教育七五三」という言葉があります。つまり、 $0.7 \times 0.5 \times 0.3 = 0.105$ なので高校卒業時点では授業の内容がわかる子が1割ちょっと、 $0.7 \times 0.5 = 0.35$ なので高校入学時点で授業の内容がわかる子が35%しかいないということです。品川区では現在、施設一体型で6校、その他は施設分離型で小中一貫教育を行っています。小中一貫教育の目的は、エリート養成ではなく、落ちこぼれを少なくしようということです。

### ●固有教員の採用

公立校の教員は都道府県で採用するため、何年か経つと別の学校に異動するのが普通です。卒業してからしばらくぶりに出身校を訪ねた時に、先生方が全員入れ替わっていたら、がっかりします。このため品川区では現在18名の固有教員を採用し、これを46名まで増やすことを当面の目標にしています。

### ●市民科

一人の人間として生きていくのに必要な知識を学ぶために実学としての「市民科」という授業を行っています。小学5年生で社会の仕組みを知るために金融・消費・職業・租税・奉仕について学びます。中学2年では実際の生活で衣食住のコストがどれだけかかっているかを学び、収入と生活設計、将来目標等を考えます。

### ●英語教育の充実

平成18年度より小学1年生から英語を学び、平成26年度からは夏休み語学留学、グローバル人材育成塾をやっています。



賀詞交歓会の様子

## 賀詞交歓会

1月20日(火)に都中P事務所で総勢34名が参加して、中親会との賀詞交歓会を行いました。都中P・中親会一緒に地区を紹介するなどして親交を深めました。中親会からは「OBである我々をもっと頼ってほしい」というお言葉をいただきました。

## —中親会とは—

東京都公立中学校PTA協議会（以下都中Pという）の役員・理事・委員を退任した方や趣旨に賛同した方が会員となっている都中PのOB会です。都中Pを卒業しても永くお互いに研鑽を図り、情報交換や懇親友好を深める集いをしています。

昭和51年4月～昭和56年3月まで事務局長であった谷戸包房（やとかねふさ）氏の発案・助言を得て、第13代都中P会長永田平吉（ながたへいきち）氏を中心に、会長退任後の昭和55年9月に「中親会」が設立されました。

★★★今月の一言「失敗とは・・・」★★★  
間違いを犯しても、  
深刻なものであっても、  
やり直す機会はずっとある。  
失敗とは転ぶことではなく、  
そのまま起き上がらないことなのです。

メアリー・ビックフォード(女優)の言葉



## ★保険制度のご案内★ セイフティプラン24【中途加入が出来ます!!】

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員ごとに加入となります。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償(交通事故含む)を打ち出した保険として高い評価を得ています。加入・お問い合わせは都中Pまで。E-mail: [jpta@tokyo-jpta.org](mailto:jpta@tokyo-jpta.org)

